

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

12月号／2009年12月1日発行

3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

11月通常例会・第2回臨時総会

●日時 11月10日(火)P.M.6:30～

●場所 いわき建設会館



平成21年11月10日いわき建設会館において、平成21年度第8回通常例会が開催されました。通常例会前に第2回臨時総会が、阿部好則会員の司会で開催され、冒頭里見代表幹事の挨拶で、潮目の魚のブランド化を目指すいわきブランド研究会や、三つの目的である「良い会社をつくろう」を念頭に置いた政策提言研究会など、存続及び新規の研究会を設けた理由を述べた。寺主副代表幹事が議長を務め、松崎副代表幹事が2回の選考委員会と11月の幹事会での経緯を述べ、議長が会に諮ったところ次年度役員の承認を得た。

引き続き11月通常例会が開催され、小松ひとみ委員の「三つの目的唱和」につづき里見代表幹事の挨拶を頂いた。臨時総会において次年度の役員選任の承認を得ました。次年度役員の方々においては、大変でしょうがよろしくお願ひいたします。また現役員の方々におきましては、本年度残りの事業計画について、取りこぼしの無いようにお願いをいたします。新政権の発足により新しい仕組み作りが始まっています。政府の仕分け作業など、賛否両論がありますが、より一層の厳しい不況の状況が

続くのではないか、懸念される状況にあります。いわき市からは新卒者の新規雇用について要望がありました。学校を卒業し期待を胸に、頑張ろうとする新社会人の期待に応えるべく、雇用に対しては非常に厳しい時期ではありますが、ぜひ前向きにご検討いただきたくお願いを申しあげます。



左から吉田嘉徳さん(11/6生)、里見代表幹事、小野賢司さん(11/2生)

11月講演会(第3グループ担当例会)

テーマ

「メディアから見た人口減少に伴う いわきの産業構造変化について」

講 師 福島民報社いわき支社 支社長

矢 内 節 男 氏



いわき支社に赴任して半年が経過した。久々に良いニュースが今日の朝刊に掲載された。東芝タンガロイ様のいわきへの本社移転である。東京に開発部門があるが開発と製造が一体化し、より効率的な事業展開が可能となる。それに伴い新規雇用が生まれ、本社から120名の社員とその家族の方々が、いわきに住まわれ、いわきの住環境、福祉、医療の充実がより一層期待される。県も企業誘致には、戦略的企業誘致補助金を拠出して企業の誘致を促進しているところである。

▽人口推移と産業変化

任意団体である、いわき未来づくりセンター調査で、平成10年をピークにいわき市の人口は減少傾向にあり、平成10年10月1日現在345,120人、市の長期総合計画22年目標人口は、363,000人に推定、現在は目標推定値より下回っている。また国立社会保障振興財團研究所の、いわき市人口推移をみると平成32年度には、320,214人、平成47年は、273,343人に減少すると予想されている。次に年齢別人口をみると昭和35年代65歳の高齢者は全体人口の5%、平成17年には22%となり4人に一人が高齢者となった。産業別人口は人口比較による統計で、昭和54年から平成17年をみると第一次産業が69.4%減、第二次産業は、3.2%減、第三次産業は35.1%増となり農業従事者、鉱業従事者の減少が顕著であり、産業を支える実働人口が激減している。

▽「環境の時代」を生かす。

京都議定書により二酸化炭素の排出量が、先進国と他の国の枠組が難航し、なかなか決定に至らない。そのなか日本は2020年までに1990年より二酸化炭素の排出量を25%削減目標に掲げたが、アメリカを含む先進国が、参加しなければ国際公約にしないと条件付きであることの報道は、余りされていない。すでに地球温暖化、環境に対する取り組は、時代のキーワードとなり新聞の紙面づくりにも反映されている。政府の景気対策としてエコポイント家電や、エコカーの売れ行きが顕著である。東北運輸局の今年10月の新車登録台数が17,497台、昨年同月の22%増加、福島県では4,098台、22.7%の増加となっている。自動車はガソリンからバッテリー、燃料電池車へ移行し自動車革命の時代へと変革する。今後、日産自動車における主力は電気自動車と位置付けられ市場の動向を観察しながら準備を進めているとのことです。GMやフォードに代表される、ガソリン車のノウハウは必要と無くなってきた。今後中国やインドの自動車メーカーも台頭して

くる。11月7日付の日本経済新聞によると、NECがリチウムイオン電極の生産能力を上げるため10万台の増産計画を発表した。サンヨーや他のメーカーも電池が長時間効率よく稼働する開発に対する投資が活発化している。

▽環境ビジネスと社会資本整備

日照時間が長い、いわき市において太陽光発電を利用して、産業面にも活用すべきである。一般家庭においては、住宅用の太陽光発電の助成金制度により設置件数は増えている。平成18年8月は5件に対して、平成21年8月は40件の申請があった。平成13年から平成21年10月までの調査によると申請件数は、延べ868件、発電能力は3170.3KWとなった。本年11月からは、家庭の太陽光発電の売電価格が2倍になり、益々設置戸数が増加する傾向にある。次に企業誘致は大きな力を注がなければならない。景気の動向により太陽電池パネルのスペースエネルギーが進出を延期しているが、地元の企業が技術力を高め大きな会社と直接取引できるように成長しなければならない。自動車部品などは、県外からほぼトラック輸送であり、小名浜港の積極的な利活用が残念ながらされていない。49号国道のトンネルの規格が大型コンテナ車に反映されておらずネックとなっている。コンテナ輸送は横浜・東京が主流である。また環境振興による循環型社会創造プランで、産学官連携で何が結実しているか検証する必要もある。

次に神奈川県の取り組みを紹介します。電気自動車の充電施設となる電気スタンドなど、新しい産業の創出と、二酸化炭素の大幅削減などを目標に2014年までに、電気自動車の普及3,000台を目指し、松沢知事さんのもと環境対策先進地として、広く県外に情報発信をしている。背景には日産自動車の企業城下町の意味合いも強い。福島県においては、皆さんもご存じかと思いますが、福島県独自の取り組みとして、「福島議定書」がある。県の外郭団体が学校、職場などで二酸化炭素の削減目標を掲げて実践してもらう協定書で積極的に参加、協力いただきたい。最後にいわきの感想を述べさせて頂きます。いわき市は、広くて合併後まとまりが無いと言われていますが、各地に特色があって良いのではないか。しかし郡部と郡部をつなぐ市内環状線やバイパスなどの、インフラ整備が必要である。中山間地や過疎化、高齢化の進んだ、限界集落に近い地区の発生により、人と人、郡部と郡部の交流が遮断されている状態に有り改良工事で対応し、交流のネットワークを構築して頂きたい。

11月グループ会報告

人材育成研究グループ会

■日 時 11月25日(水曜日)19:00~

■場 所 報徳苑

■内 容 11月グループ会は資料を基に参加メンバーが今までの活動で感動したことや、自社で取組んでいる事例をお話頂き情報を共有いたしました。

- ①「宣伝をまったくしなくとも、毎日お店に行列を作る方法」サイゼリア会長の話。7割値段を下げたらお客様が行列を作ったという事例から、現在の価格の3倍のサービスをしなければ行列は出来ない。
- ②「顧客の期待を遥かに超える感動」リッツ・カールトン「顧客の期待を遥かに超える感動」を生み出すために「創造性」が必要であり、それは決してマニュアル通りに単調に仕事をこなし、単調な思考を行って生まれてくるものではなく、むしろマニュアルは、人間の創造性を阻害することすらあり、感動を生み出すのは、常にこうしたマニュアルを超えたところからである。
- ③小さなサービス(心遣い・スピード・挨拶・整理整頓・共に化・徹底)の積み重ねが印象に残り、またあそこで買いたいとなる。



経営品質向上グループ会

■日 時 11月26日(木曜日)18:30~

■場 所 報徳苑

■内 容 テーマ:組織活性化人事制度構築について
講師:みらい研究所 大和田氏

デフレ経済と少子高齢化の進行、労働関連法改正を踏まえながら、社長がお客様第一の正しい姿勢、社長の思い、決意を経営計画書・方針書で示すことが、活き活きした組織の原動力となる。

社是・社訓やスローガン、朝礼の絶叫では、決して社員は動機づけられない。

伝統的組織論は、内部管理にとらわれ、変化を阻止し組織の維持・存続を命題とし、組織の利益が優先し、組織は自己増殖を続けてきた。

変転する環境とお客様の変化に合わせて、我社の組織

をつくり変えること。

お客様の要求というものは、こちらの都合など一切関係ない。

「ムリ・ムダ・ムラを省くというような考え方は、もっともらしくはあっても実践では通用しない」
くれぐれも、大企業病、管理病にならないように。



経営戦略グループ会

■日 時 11月10日(火曜日) 19:00~

■場 所 いわき建設会館

■内 容 担当例会の月でしたので、福島民報社支社長をお呼びして、「メディアから見た人口減少に伴ういわきの産業構造変化について」と題してご講演を頂きました。講師におかれましては、本年4月にいわき支社に赴任され、前職は本社編集局長報道部デスクを務められ、県内をくまなく廻られ福島県内を熟知されているとのこと、以下3つのテーマについてご講演を頂きました。

▽人口推移と産業構造(平成10年をピークに減少傾向、労働力人口、産業別人口に変化)

▽「環境の時代」を生かす(地球温暖化問題から景気対策としてのエコ家電、エコカー)

▽環境ビジネスと社会資本整備(恵まれた資源の活用と技術力、環境都市づくり)

詳細については、本紙2ページをご覧ください。

人材交流グループ会

■日 時 11月25日(水曜日) 18:30~

■場 所 建設会館

■内 容 会員企業紹介または、外部団体・組織との意見交換会⑤

◆講師:内郷まちづくり市民会議 四ツ倉事務局長

◆内容:「いままでの内郷、これからの内郷」について
内郷地区魅力あるまちづくり懇談会・内郷地区明るく住みよいまちづくり振興会・内郷ふるさと振興会の3団体の統合により発足したとの説明がありました。
また、それぞれの団体の今までの活動内容と、内郷での取り組みをご紹介いただきました。

内郷まちづくり市民会議が発足した理由として、内郷

全体を統括的に管理・運営し、未来を見据えたまちづくりをしていく必要性があったためということで、最後にこれから活動や課題をご紹介いただき、会を終了しました。

出席者に、内郷での取り組みが詳しく分かった有意義な会でした。

新入会員紹介

皆さん宜しく
お願いします！



さいとうせいいち
齋藤誠一

大和証券㈱ いわき支店長
業種／証券業
生年月日／昭和43年1月18日
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字田町1番地の7

いわきブランド研究会

■ 日 時 11月12日(木曜日) 18:30~

■ 場 所 報徳苑

■ 内 容 食べるんピック共催、いわき経済同友会シンポジューム開催スケジュールについて

来年の2月にいわき新舞子ハイツで開催される食べるんピック(いわき地元の食材を使用した料理の試食会)に当研究会が共催を申し込み、そこでシンポジュームを行う事になりました。

今回は、その進行及び内容について具体的な話し合

いを致しました。

寺主副代表幹事
にも出席を頂き、
テーマ、役割分
担、予算等の確認
を致しました。



12月グループ会ご案内

■ 人材育成研究グループ会／12月16日(水) PM7:00～ 報徳苑
中間報告会並びに懇親会(忘年会)

■ 経営品質向上グループ会・人材交流グループ会／12月21日(月) PM6:30～ 雨情の宿 新つた
母畑温泉八幡屋の渡辺社長に「渡辺社長の考える経営品質について」という内容
でお話を伺い、その後、にぎやかに忘年会を行う予定

■ 経営戦略グループ会／12月17日(木) PM6:30～ ホテル美里 忘年会兼親睦会

■ ビジネスマodel研究会／12月17日(木) PM6:30～ うお昭 温泉に入り、忘年会を兼ね開催

会員はどのグループ会にも出席できます。グループ長にお申し込み下さい。

平成21年度創立記念公開例会のご案内

12月 8日(火)

P.M.6:00～6:30	受付
P.M.6:30～6:45	総会
P.M.7:00～	講演会
P.M.8:30～	懇親会

演題『先人に学ぶ、天地人 直江兼続の
“参謀学”英傑たちの“リーダーシップ”』

講師 静岡大学名誉教授
文学博士 小和田哲男氏

○会場/いわきワシントンホテル椿山荘

○会費/3,000円

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発行 いわき経済同友会 里見 潤

編集 情報委員会 清水雅昭

委員 広報担当 岩尾英子・高萩和義・中田博道・山崎勇喜 HP担当 坂本和久・阿部晴康

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp